

音訳ボランティアくさのみ主催 作家・三浦佐久子さんのお話し会



令和6年1月24日(水)音訳ボランティア「くさのみ」が、作家の三浦佐久子さんを招いてお話し会をボランティアセンター本所で開催しました。三浦さんは、妹さんがくさのみの元会員という繋がりもある方です。この日は、大田原市で朗読ボランティアとして活動している「まつぼっくり」の皆さんを招待し、近隣で同じ活動を行っている者同士の交流の場になりました。

三浦さんは初めに「やさしい言葉でわかりやすくをモットーにしている。今日は何か1つ沁み込ませてください」と挨拶し、「足尾銅山よもやま話」をテーマに講話しました。まず、足尾町の歴史、江戸時代の足尾銅山、明治時代に貢献した足尾銅山、最後は、昭和48年2月28日に閉山し、現在は日光市に合併し緑化活動が行われ再生を計っているという話で締めくくりました。限られた時間ではありましたが、足尾銅山の光と影を知ることができたお話し会となりました。

